

施策調査専門委員会の検討状況について

【 第44回施策調査専門委員会（H30. 8. 23）】

- <議題>
- 1 特別対策事業の点検結果報告書(平成29年度実績版)について
 - 2 県民参加型ワークショップの開催に伴う施策調査専門委員会の関わり方について
 - 3 第3期以降における経済評価について
 - 4 施策の最終目標の指標検討(目標値)等について

<主な意見(要旨)>

【 議題 1】特別対策事業の点検結果報告書(平成29年度実績版)について

- 点検結果報告書の構成は資料のとおりでよい。内容については、今回は時間がないので次回の施策調査専門委員会で議論していく。
- 「県民会議委員の個別意見」は、これから個別に県民会議委員に照会をしていく。各事業の総括は、県民会議で作成するので、各委員は必ず目を通してほしい。
- 点検結果報告書は、ホームページ上で見られるようになったのは良いが、本文、概要版、資料編が分割してPDFでダウンロードできるようになるとよい。
- PDFで全て一括ダウンロードできるようにしてほしい。
- 現在、ホームページの検索がやりづらいので、リンクを工夫してほしい。
- 各事業の流れ図だが、11事業中8事業しかないのをそれを説明できる文章を入れた方がよい。
- 基金で積み上げるというやり方はよくある形だが、それが単年度の税収を超えて積み上がっているかどうかを見たい。
- 点検結果報告書(平成29年度概要版)の構成だが平成28年度の概要版の最終ページに「特別対策事業の点検・評価結果」がある。これが一番大事なので最初のページにもってくるのがいいのではないか。
- 点検結果報告書(平成29年度実績版)を作成してから、点検結果報告書(平成29年度概要版)を作成していくことにしていく。

【 議題 2】県民参加型ワークショップの開催に伴う施策調査専門委員会の関わり方について

- 開催日は12月1日(土)、会場は、厚木市立あつぎ市民交流プラザ(アミューあつぎ)で開催予定。
- 施策調査専門委員会としては、有識者という形でサポートをしていく。
- 午前中に有識者による評価発表が行われる予定であり、吉村委員長、大沼副座長、土屋副委員長の3人にお願ひし、発表時間は各15分程度とする。
- 施策調査専門委員会として、主題を「かながわの森と水を語ろう」、副題を「第42回かながわ県民フォーラム」として提案したい。

【 議題 3】第3期以降における経済評価について

- 経済評価は、第4期の2年目に成果物を提出するスケジュールである。
- 経済評価と経済効果の2つあり今回行うのは経済評価であると明記した方がよい。
- 自然が持つ機能や過去から現代の変化に対するコスト等を見積もっていくことだと考える。

- 次回の施策調査専門委員会で、経済評価を行う目的・対象を精査していく。
- 今回の施策調査専門委員会でスケジュール事務局案は合意された。

【議題4】水源環境保全・再生施策の指標検討（目標値）等について

- 指標検討のスケジュールだが、平成32年度5月に県に「総合的な評価（中間評価）報告書」を提出するため、平成31年度より「総合的な評価（中間評価）報告書」をとりまとめる必要がある。とりまとめるにあたって「評価のものさし」が必要であり、今年度中に「総合的な評価（中間評価）報告書」のものさしを決めないといけない。
- 「水」は指標が作りやすい気がするが、森林の環境や野生動物の部分を指標化するのは何を指標の対象とするのかを考えていかないといけない。
- 森林がどのように水環境に影響しているかのつながりも検討できればよい。
- 「大綱 20年間の取組の評価方法と評価指標案」について、今回の施策調査専門委員会では、結論が出ないので「最終的な総合評価を見据えた『評価に関する検討事項』」について資料「大綱 20年間の取組の評価方法と評価指標案」をたたき台にいただき、項目ごとに委員へ意見照会をすることとした。